

【企画委員会 学園祭報告】

大瑠璃祭に学友会相談コーナー開設

企画委員長 川光 秀昭(54 回生)

今までの暑さはどこに行ったのかと思わせるあいにくの天候の中、10月22日(土)に母校の学園祭が大瑠璃祭と称して開催されました。また当日は同時にオープンキャンパスも行われ、学友会は保護者や入学希望者と在校生の両者を対象に相談コーナーを開設しました。

オープンキャンパスはあいにくの雨のため、参加者は昨年を下回りましたがそれでも100名を超え、遠藤学長と神澤学友会長の挨拶で幕が開かれました。保護者に伴われた高校生はもとより、生まれたばかりの赤ちゃんとおさんを連れて、まさに家族ぐるみのお父さんも居られました。現在のような社会情勢の中で医療系の国家資格である診療放射線技師の就職率や安定感には魅力があるとの事でした。

今年から新たに設けた“体験コーナー”では、東日本災害に関連して世間に認知されたサーベメータ等を使った実験が公開されました。肥料など放射性物質が日常生活に存在することが示され、驚いた様子で計測の針を見つめていました。また、放射線技師の仕事内容をモニターで紹介しました。多くの方に見学頂きましたが、終了後のアンケートにお礼の一文があったことを事務局から知らされ、企画した立場として少しでも役に立てたことに胸をなでおろしました。

大瑠璃祭では在校生のための相談コーナーを学友会室に開設しました。学友会の大先輩達からの就職や進路、人生の相談に対する回答は、白髪が目立つようになった今の私が聞いても含蓄のある内容で、しばし聞き入ってしまいました。学園祭も終盤にさしかかると、出店で売れ残ったおでんや焼き鳥を先輩達が引き取り、学友会室はさながら居酒屋の様相を呈してきました。時が経つほどにアルコールがほどよく効き、学年や歳の差を忘れ盛り上がったのは言うまでもありません。今年はいくの雨模様のため、恒例の東屋でのBBQはお預けとなりましたが、在校生や先輩など同窓との交流を行うことができた有意義な一日となりました。



以上